

謹賀新年



2010年度 寅年 年男で～

ホームページの活動報告（ブログ）もご覧下さい！

<http://www.keiichi-s.com>



姉妹都市視察(09年5月)
(フランス・オルレアン市)

■新年のご挨拶

市議会議員 桜井啓一

新年明けましておめでとうございます。

3年目の昨年も、多くの皆様に支えられ、無事に新年を迎えることができ、誠にありがとうございました。

一年を振り返ってみますと、米国からの経済危機や3年振りのデフレ宣言、国の政権交代など様々な出来事がありました。地方においても少子高齢社会と人口減少時代の到来により、厳しい環境が続くと思われれます。しかし、本市においては、3つの地元密着型のプロスポーツチーム（サッカー・自転車・バスケットボール）が活躍した元年であり、私達に明るい話題を提供していただきました。

本年も、皆様にとって幸多い年である事を御祈念申し上げますと共に、更なるご指導、ご鞭撻をお願いいたしまして、新年のご挨拶いたします。

■平成21年 12月定例会一般質問(抜粋)

- * 地上デジタルテレビ放送難視聴対策について
- * 宇都宮市ブランド戦略と「婚活」について
- * 小中一貫教育と地域学校園の課題と取り組みについて
- * 屋台・天棚の活用について
- * 市営住宅使用料の収納政策について
- * とちぎの元気な森づくり県民税の有効活用について
- * イノシシ対策と食材としての活用について
- * 石那田インターチェンジの設置と地域活性化について



12月9日・傍聴の皆様と

<姉妹都市視察レポート(前編)>

昨年5月6日～13日、フランス共和国のオルレアン市、パリ市とイタリア共和国のベネチアに、議員団8名で姉妹都市訪問と視察研修に行かせていただきました。宇都宮市と姉妹締結20周年を迎えたオルレアン市の再調印式に参加し、多くの市民の歓迎の中、本市の市民訪問団共々、友好を深めて参りました。

オルレアン市経済開発協会が、テクノポリス推進の工業団地を訪問した際に、宇都宮市を訪れたことがきっかけで姉妹締結をしました。

オルレアン市はジャンヌ・ダルクゆかりの地であり、パリの南西約120kmに位置し、人口約11万人で農業・工業が盛んで、姉妹締結してから日立製作所や資生堂などの日本企業が盛んに営んでいました。

今回の姉妹都市訪問で、改めて姉妹都市の重要性を感じ、このような機会を与えていただいたことに感謝いたします。

続きは、次回の「けいちゃん便り」で報告いたします。



グローロー邸・ジャンヌダルク像の前

<湯西川ダム視察レポート(12月16日)>

自民党議員会では、現在、本体工事が進められている湯西川ダムの現場を視察してきました。将来の水需要の増加に対応するため、本市においては、昭和59年3月に参画決定し、昭和60年からダム事業費の5%を負担し、現在に至っています。

ダムの概要は、提高119m、提頂長320m、総貯水量75,000千m³で、現在の進捗率は66%です。用地取得と家屋移転は100%完了しており、視察当日はダム本体の生コン打設が行われていました。

平成23年度の完成に向け、24時間作業で工事が進められており、現在の作業員は総勢約400名、スケールの大きさに感動しました。

「百聞は一見にしかず」卓上の議論でなく、現場を見て地域住民の意見を聞くことの重要性を認識しました。

<議会の状況>

議員定数削減について

現在、議会検討委員会において、次回の統一地方選挙時の議員定数削減に向けて、検討をしています。削減か現状維持か、議員の必要性を考慮し、昨今の社会情勢での政治判断のもと、検討をしています。

○けいちゃん所感○

平成20年4月に「とちぎの元気な森づくり県民税」が導入され、間伐をはじめ森林整備が実施されています。

山林が明るくなり、車を運転するのに少しずつ安全な環境になってきました。しかし、近年イノシシが増え、農作物への被害が拡大し、イノシシの活動範囲が広くなり、民家の近くで見かけるようになり、車との交通事故も発生しています。皆さん、気を付けて生活しましょう。

昨年の世相を表す文字が「新」でした。新年を迎え、本年は新しい事に挑戦し、健康第1で頑張りましょう！

今後とも、ご指導、ご鞭撻をお願い致します。



ダム提頂付近から本体工事現場を見下ろす(左端が私)

◎後援会からのお知らせ◎

『総会及び新春のつどい』

日時 2010年2月14日(日)

11時00分～

場所 大晃大飯店 新館2階

皆様のご意見をお待ちしております！